

風力発電施設から発生する騒音等の評価手法 に関する検討会の開催目的について

環境省水・大気環境局

風力発電施設については、騒音等による生活環境への影響を未然に防止するため、設置に当たっては、音源特性や計画地周辺の状況を十分に調査するとともに、環境に及ぼす影響を事前に予測し、その影響をできる限り回避・低減するための適切な評価の実施が求められる。

そこで、風力発電施設の構造や設置場所等の特性を考慮し、発生する騒音等の調査、予測及び評価を適切に行うための手法について検討するため、風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会を開催している。

本検討会においては、一般的な風力発電施設からの騒音の測定手法等について、幅広く検討を実施している。

一例としては、風力発電施設から発生する騒音等の測定を行う際の風雑音の影響を低減するための手法、予測式を使用する際の留意事項の整理、評価を行う際の残留騒音の取扱い方や対策手法の検討などを行うものである。